

北星学園大学

# 後援会だより

## VOL.121

発行日 2015年6月1日  
発行者 北星学園大学  
後援会事務局  
札幌市厚別区大谷地西2  
丁目3番1号 〒004-8631  
電話(011)891-2731  
印刷(社)北海道リハビリ



## 新しいキャンパス ライフに向かって

学長 田村 信一

今年も3月13日に修了式・卒業式を終えた後、4月から新しい年度が始まり、4月3日にニトリ文化ホールで入学式を行い、フレッシュな新入生を迎えることができました。当日は多数の保護者やご親族にもご出席いただき、感謝申し上げます。2階は全員着席できず、一部は立ち見となつてしまい、申し訳なく存じます。すでに4月8日から前期の授業が開講していますが、若々しい新入生がキャンパスを行き来している様子を見ると、春の訪れを実感し、私もリフレッシュしています。

さて、今年の1年次入学者数は以下の通りです(カッコ内は3年次編入学者数)。文学部英文学科130(16)、心理・応用コミュニケーション学108(11)、経済学部経済学科166(2)、経営情報学科133(5)、経済法学科133(2)、社会福祉学部福祉計画学科103(5)、福祉臨床学科95(1)、福祉心理学62(3)、短期大学部英文学科145、生活創造学科101。おかげさまで全体として定員を上回り、昨年より多くの学生を迎えることができました(定員の1・16

倍です)。ところで、現在大学のキャンパスは昨年より再開発中ですが、最大の建築工事だった新C館は3月に完成し、すでに使用されています。入口のホワイエには、美唄出身で日本を代表する彫刻家安田侃先生の作品「地人」を配置し、50周年記念講堂には旭川にある家具メーカー・カンデイハウス社の木製の座席を設置しました。大学は地域の知的・文化的拠点でもあり、本学が北海道にある大学として、このように北海道を代表する芸術家や企業とコラボできたことを嬉しく存じています。また、各階に設置されたラウンジには学生が集う、余裕のある学習・生活空間を実現することができました。今後は、既存のA館の改修があり、キャンパスの中心にあるセンター棟の改修、サイクリング道路から入る通学路の新設・整備など関連する

工事が夏休み終わりまでしばらく続きますので、もう少し辛抱ください。センター棟の改修では、憩いと情報交換のためのオープン・カフェや留学生との交流のための国際交流ラウンジとともに、学生の自主的な学習の場であるラーニング・コモンズが新設されますが、ここに教職員を配置して学習を総合的に支援する「学習サポートセンター」を設置することが決まりました。こうした施設の利用を通じて、本学の学生が充実したキャンパスライフを享受するだけでなく、学習に対して今以上に能動的な姿勢を発揮していくことを楽しみにしているところです。



## ようこそ 北星へ!

後援会会長 深澤 秀則

サラ・C・スミス女史の「世にあつて星のように輝き」の建学理念のもとで、128年の歴史と伝統を脈々と継承している北星学園の大学院、大学、短期大学部を志望し、見事合格した新入生、及び編入生の1,221名の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式は、大多数の入学生にとって、小、中、高の入学式等で経験したことがないであろう讚美歌が斉唱される中で始められました。式では、田村学長、大山理事長、在学生代表の細井智佳さんから歓迎の

祝辞が述べられ、大学の歴史、学生としての心構え、学生生活等のお話がありました。また、新入生からは大学生活に対する期待等の誓いのことばがあり、入学一同改めて、北星学園の一員になったことを実感されたことでしょう。

今、皆さんは、北星学園のシンボルであり、校花でもあるライラックが咲き乱れるキャンパスの中で、完成した新C館を中心とする充実した施設・設備で学業に動んでいることと思います。厳しい勉強に明け暮れた受験生時代を終えて、入学した喜びと高校時代のややもすると束縛とも感じ取られる様々な制約からの解放を感じているでしょう。それと相まって、高校時代とはあらゆることで天地ほどの差(教育科目の多様性、一般教養の受講学生数の膨大さ、サークル活動の自主独立等)がある中で、大きな希望や目標に胸を膨らませ、良き友との出会いや学生生活に慣れ始めている時期でしょう。

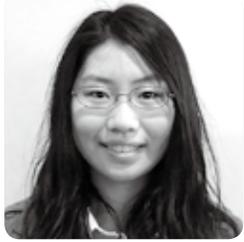
4年間、2年間は瞬く間に過ぎます。大学生、短大生になると自由と自主性が大いに重んじられ、行動範囲も交友関係も大きく広がり、人間模様を見聞する機会が増え、社会の仕組みを学んでいくことになるでしょう。多方面に亘る情報が氾濫している現代に於いて、社会の動きを絶えず把握し、自己本位に物事を判断することなく、正確な情報を身につけ、自己管理を徹底し、学生時代にしか出来ない経験をし、北星学園大学及び短期大学部に入学した目的を忘れることなく、将来を見据えて、青春を謳歌して下さい。

保護者の皆様には、後援会にご入会いただき御礼申し上げます。大学は今年開学53周年を迎え、更に未来へと繋がる歩みを始めています。短期大学部も現在では道内短期大学のなかで、屈指の歴史と伝統、実績のある学校となっております。そして、後援会は設立以来今年で31年目になります。これからも学生達の教育活動援助に誠心誠意努力しますので、御協力宜しくお願い致します。

## 後援会とは?



北星学園大学後援会は、本学在学生のご父母全員と、本学を卒業された方のご父母ならびに本学の同窓生を正会員として構成されており、設立以来今年で31年目になります。本会の目的は、北星学園大学、短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」としての活動を行っております。その一例として、図書館への図書等の寄贈、先生方の学術出版補助、国際交流経費補助、学術講演会や学会に対する補助等を行う他、学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生に対する補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う器具の購入等を行っています。これらの活動の他に、本会は「北星学園大学・短期大学部」と「ご父母」とを結びパイプ役として、毎年地区別父母懇談会を開催しており、大学の教職員による本学の教育方針やカリキュラムについての説明、個別に学生の修学状況等について面談を行っています。地区別の父母懇談会は、北海道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催しております。後援会が開催する各行事は、ご父母の皆様が北星学園大学、短期大学部について知る良い機会となっておりますので、多くの会員の皆様のご出席をお待ちしております。なお、『後援会だより』は年4回発行し、大学の情報を皆様のお手元にお届けいたします。また、後援会ホームページでも過去のものをご覧いただけますので、ご覧いただければ幸いです。 URL:www.hokusei.ac.jp/parents/supporter/



文学部 英文学科  
松浦 知里 さん

入学してからの1、2週間は驚くほど早く過ぎました。初めは履修登録や教科書販売など大学ならではのことに戸惑い、分からないことも多く、すごく不安でした。しかし、教職員の方々や先輩方が親切、丁寧に疑問に答えて下さったので、そのような不安は徐々に減っていったように思います。本当に心強く感じました。今では大学の生活にも慣れ、毎日楽しく過ごしています。

私にはまだ具体的な将来の目標がありません。それを見つけるためにもまずは目の前のことに全力で取り組んでいきたいです。ときには上手くいかないことが出てくるかもしれませんが。そういう時は自分が成長できる最高の機会だと思って逃げ出さずにしっかりと向き合い、乗り越える努力をしようと考えています。

また、学問に一生懸命励むことはもちろん、周りの人達とのつながりも大切にしたいです。

自分の好きなことをできる恵まれた環境にいられることへの感謝の気持ちを忘れず、4年間の大学生活が実り多きものになるよう精一杯努力していきます。

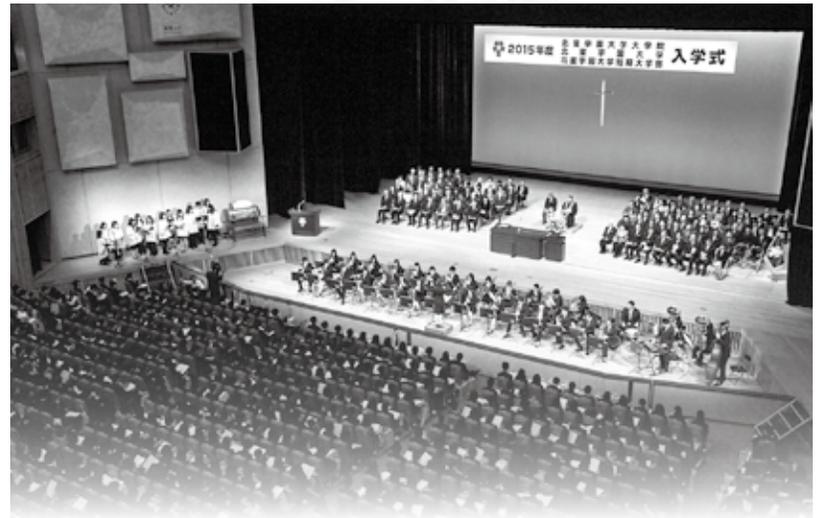
# 新入生からの言葉 大学生生活にむけて



短期大学部 生活創造学科  
才野 静代 さん

入学してから約1ヶ月が過ぎました。最初は知り合いも少なく不安でしたが、徐々に話す人も増え、だいぶ大学生活にも慣れてきました。ただ黒板に書かれたことを覚えてテストに向かうだけの授業とは違い、どの講義も全て新鮮に感じます。前期に時間割を詰め込みすぎて毎日へとへとですが、とても楽しいです。また、私は一人暮らしをしています。最初は待っていてもご飯は出てこないし、洗濯物は溜まるし、テレビを見ていてもお皿は綺麗にならないし、いろいろと大変でした。今では早く起きて朝ご飯とお弁当を作っています。生活リズムは一転しました。これからアルバイトやサークル活動でますます忙しくなりますが、今までずっと苦手になっていた「時間の使い方」を学びたいと思います。卒業後は就職を考えています。どのような職種に就きたいか、まだ具体的には決まっていますが、福祉と経済に興味があり、この2つを深く掘り下げて勉強したいです。他にも英語検定や簿記会計などの資格取得にも挑戦していきたいです。勉学に励みながら大学生活を楽しみ、この2年間を何事にも積極的に取り組む充実したものになりたいです。

## 入学式開催



4月3日の午後1時より、2015年度の入学式がニトリ文化ホールで開催されました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、ご父母の方々も多数出席して下さり、会場は満席となりました。そのなかで、短大部と大学3学部、大学院を含めた新入生総数1,221名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。式はオルガンの前奏によって幕を上げ、一同による讃美歌「いつくしみ深き」の合唱の後、チャプレンが聖書を読み上げ、祈祷を奉げました。次に、学長の式辞があり、理事長から祝辞が贈られ、在学生代表から歓迎の言葉がありました。そして、大学・短期大学部の各新入生代表から、それぞれ誓いの言葉が述べられました。その後、吹奏楽部とチャペル・クワイアが、谷川俊太郎氏作詞の学歌を披露し、再び一同で讃美歌「きみのたまもの」とを合唱しました。最後は、チャプレンによる祝辞と、オルガンの後奏によって約1時間の入学式は無事終了いたしました。

式を終えた新入生達はほっとした様子で、ご父母の方と楽しそうに会話をする姿や会場の前で記念撮影をする姿などが数多く見られました。その表情には、これから始まるキャンパスライフに対する大きな希望が満ちていました。

学生生活の中にはたくさんの可能性が広がっていることと思います。自らの可能性を最大限活かし、そこで得たものが一生の宝物となるように、充実した日々を過ごしていただけるようお願いしております。



### 組織紹介

学長	田村信一	国際教育センター長	柳町智治
副学長	濱保久	学生相談センター長	田澤安弘
スミス・ミッションセンター部長	西脇隆二	学習サポートセンター長	中嶋輝明
文学部長	鈴木剛	総合情報センター長	金子大輔
文学研究科長	鈴木剛	エクステンションセンター長	高野照司
経済学部長	鈴木剛	心理臨床センター長	西山薫
経済学研究科長	鈴木剛	広報委員長	柴田利男
学生支援委員長	鈴木剛	事務局長	樋田繁治郎
総合研究センター長	原島正衛	事務局次長(管理運営担当)	佐々木律夫
社会福祉学部部長	原島正衛	事務局次長(学生支援担当)	小笠原稿幸
社会福祉学研究科長	原島正衛	企画課長	越田実
図書館長	横山穰	総務課長	前村俊一郎
短期大学部長	内山智	人事課長	今康昭
英文学科長	長谷川典子	財務課長	笠松英雄
心理・応用コミュニケーション学科長	田辺毅彦	学生支援課(教務担当課長)	佐々木薫
経済学科長	中村一浩	学生支援課(修学支援担当課長)	桑原大幸
経営情報学科長	松本康一郎	学生支援課(学生厚生担当課長)	遠藤潤
経済法学科長	増田辰良	学生支援課(国際教育担当課長)	川島善孝
福祉計画学科長	岡田直人	学生支援課(実習事務担当課長)	宗石依久子
福祉臨床学科長	西田充潔	就職支援課長	鈴木克知
福祉心理学科長	栗林克匡	広報課長	田中正博
短期大学部	森越京子	研究支援課長	五十嵐明
英文学科長	藤原里佐	情報システム課長	高野正明
生活創造学科長	藤原里佐	司書課長	宮川淳子
キャリアデザインセンター長	鈴木克典	入試課長	山本一博

# 大学の校舎と記憶

大学建築委員長 岩本 一郎 (経済学部教授)

私のお気に入りの北星の教室は、もう私の記憶にしかありません。旧C館のC401です。C401は、私が北星で最も多く授業をさせてもらった教室で、言うなれば、大学教員としての私の原点です。思い起こせば、娘の誕生を聞かされたのもこの教室でした。そして今回、この思い入れのある校舎を取り壊して、新しいC館を建てる委員を大学から任されたのも、何か運命のような気がします。

私の学生時代の記憶の多くは、大学の教室と結びついています。500人を超える学生に圧倒されながらはじめて大学の授業を受けた階段教室。冷房もなく、堅い椅子で絶望的な気分で試験を受けた大教室。憲法9条の議論でゼミの仲間にやり込められて悔しくてうつむきだけだった演習教室。「S棟」「軍艦講堂」「8番教室」…そんな学生時代の記憶は、今も教室とともに鮮やかに蘇ってきます。学生時代、最も長い時間を過ごしたのが教室であったことを考えると当然かもしれません。そう思うとき、校舎の建築には重たい責任があることに気づかされます。

新C館の目玉は、最新のAV機器を備えた多種多様な教室です。多様な価値観や世界観が衝突する世界の中で、地球規模で起こる新たな難問に対処するには、手垢の付いた古い知識を受け取るだけの学修では十分ではありません。今の学生には、新しい知識を自らの力で獲得し、それを実際に活かす新しい知恵や技術を創造していくことが求められます。そのための学びが「アクティブ・ラーニング」です。C館の教室は、このような学生たちの主体的な学びに添えてくれるものと確信

しています。学生にとって大学の校舎は、4年間過ごす大切な生活の場でもあります。友だちとお喋りをしたり悩みを聞いたり、スマホをいじりながらボーッとした時間を過ごしたり、お弁当を食べお茶を飲んだり、バイトの疲れをいやすために居眠りをしたり、そんな日常の場でもあります。だから、校舎には、はっきりとした目的や機能が決まっていなくてもある空間が必要です。



新C館には、学生たちの憩いの場と自由な活動の拠点となる空間がたくさんあります。500席の講堂につながる1・2階には広いホワイエがあります。4階から上には眩しいほど陽が差し込むラウンジがあります。広々とした廊下の窓際には、1人でも大人数でも寛ぐことのできる眺めのいいカウンターがあります。1人1人の学生にとってお気に入りの場所がきっと見つかるはずです。

学生には、自由で斬新な発想で新しいC館を使い倒して欲しい。そして卒業した後も、北星での思い出が、C館の記憶と結びついて呼び覚まされたら、こんなに嬉しいことはありません。最後になりましたが、C館改築とA館改修に当たり、後援会の皆さまからご理解とご協力をいただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。



## ◆ご相談ください◆ ～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。詳細は今年度のキャンパスガイド45頁(学生への配付冊子)、及び大学公式ホームページ(<http://www.hokusei.ac.jp>)→「保護者の方へ」→「学生生活」→「学費に関するQ&A」をご参照ください。

### ■各種減免制度

#### ○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。財務課までお申し出ください。

#### ○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

#### ○修学困難者減免

学費負担者(主として家計を支えている者)の死亡・病気・自己都合以外の理由での失職(解雇・倒産等)や災害等により経済的に修学が困難になった学部又は短期大学の学生に対する減免制度です。それぞれの状況により条件が異なりますので、学生支援課までご相談ください。

### ■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延伸することが可能です。財務課までご相談ください。

## 大学後援会からのプレゼント



卒業生へ

後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2014年度の卒業生には「卒業記念PHOTOBOOK」をお贈りいたしました。ゼミ、クラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校に対する関心と愛着を持っていただくツールとして制作いたしました。また、新入生には「ワンタッチ真空ステンレスボトル&文具セット」をお贈りいたしました。本体には北星学園大学の校章とロゴがデザインされており、まさにオリジナル製品となっています。今後の大学生活において有効にご活用いただければと思います。

校章の形は、ライラックの花びらをシンボリックに表現しており、星のまわりの5つの矢印は、本学の教育方針である人間性、社会性、国際性、そして希望と発展を意味しています。校章に込められた意味を理解していただき、より充実した大学生活を送っていただければ幸いです。



新入生へ

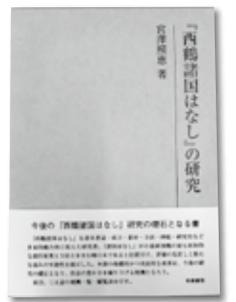
## 「『西鶴諸国はなし』の研究」 (2015年3月 和泉書院)

経済学部教授 宮澤 照恵

この本は、江戸時代の前期(1685年)に刊行された井原西鶴の短篇説話集『西鶴諸国はなし』を、「小説家西鶴の最も原初的な創作原理と方法とを含む咄の本である」と位置付け、多面的総合的に論じたものです。「全体の構想論」と「咄の方法論」とが大きな柱となっていますので、この2点を中心にして概略を述べたいと思います。

まず「構想論」ですが、はじめに書誌の形態から「版下」の成立事情を論じ、続いて形態上の差異が明瞭に認められる4章があること、それらには当代の挿絵の文法を逸脱した「ウソ絵」を伴うという特異性が見られること、構想・方法に亘って特性が抽出できることなどを検証した上で、当該の4話が『諸国はなし』を纏める際の核となった可能性を提示していきます。次に「方法論」ですが、個々の作品についてその素材を解明した上で、意外なものを取り合わせる着想のエネルギーや素材からの飛躍を論じ、表現分析を介して西鶴のたくらみを炙り出すと同時に、新たな読みの可能性を追究していきます。

こうしたアプローチの他に、作品研究の綴り糸として「諸本書誌」「総覧」「挿絵論」「近現代の研究史」「資料翻刻」などを配することによって、『諸国はなし』全体を俯瞰しつつ原質に及ぶ研究書となっています。本書で到達した基礎的かつ実証的な成果は、今後の『諸国はなし』研究の礎石となり、作品の豊かさを掘り下げる契機となるものと思います。最後になりましたが、出版助成を賜った大学後援会に衷心より感謝申し上げます。



# 2015年度 行事予定

3月	31日(火) オリエンテーション (~4月7日)	7月	4日(土) 第1回札幌地区父母懇談会 (大学3・4年次、短大部2年次対象)	10月	10日(土) 大学祭(~13日)
	3日(金) 入学式 定期健康診断(~6日)		29日(水) 前期授業終了		24日(土) 第2回札幌地区父母懇談会 (全学年対象)
4月	8日(水) 履修登録開始(~14日)	8月	30日(木) 前期定期試験(~8月7日)	12月	30日(金) 宗教改革記念講演会
	前期授業開始		1日(土) 『後援会だより』第122号発行		18日(金) クリスマス礼拝
5月	2日(土) 学園創立記念日	9月	29日(土) 旭川地区父母懇談会	1月	22日(火) 年末授業最終日
	11日(月) スミス・ミッションウィーク (~15日)		30日(日) 北見地区父母懇談会		19日(火) 後期授業終了
	20日(水) 後援会第1回役員会		5日(土) 帯広地区父母懇談会		20日(水) 後援会第2回役員会
6月	30日(土) 後援会総会・懇親会	10月	6日(日) 釧路地区父母懇談会	3月	21日(木) 後期定期試験(~29日)
	1日(月) 『後援会だより』第121号発行		12日(土) 函館地区父母懇談会		4日(金) 卒業生名簿発表
	5日(金) 体育祭(~7日)		13日(日) 苫小牧地区父母懇談会		14日(月) 卒業礼拝
			14日(月) 後期授業開始		15日(火) 卒業式 『後援会だより』第124号発行
			30日(水) 前期末卒業式		

7月 4日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎 (大学3・4年次、短期大学部2年次対象)
8月 29日(土)	旭川会場	旭川グランドホテル
8月 30日(日)	北見会場	ホテル黒部
9月 5日(土)	帯広会場	帯広グランドホテル
9月 6日(日)	釧路会場	釧路プリンスホテル
9月 12日(土)	函館会場	函館国際ホテル
9月 13日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
10月 24日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎 (全学年対象)

※ お子様を同席させての三者面談は行いません。

今年度の地区別父母懇談会は左記の日程で計画しております。懇談会では、大学の情報や学生の修学状況等についての説明、昼食を取りながらの父母同士の懇談、個別に学生の修学状況(単位修得、学生生活状況、及び就職関係の相談など)ができる個別懇談を実施いたします。

履修している授業科目等がわかる「履修登録票」や「授業科目別出席状況」、前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」などを個別に用意しておりますので、それに基づいて担当教員より説明を聞くことができます。毎年参加された皆様からは大変好評を頂いております。(ただし、個人情報保護に関する法律により、成人となった学生本人が所

定の手続きにより同意しない旨申し出た場合は、修得単位数等、修学状況に関する情報を保証人にお伝えすることができないこともありますので、あらかじめご了承願います。

地区別父母懇談会は、北星学園大学後援会の事業の一環で、皆様からの会費により運営しております。多くの会員の皆様のご参加をお待ち申しあげております。

詳細につきましては、6月中旬に別途ご案内させていただきます。また、先に3・4年次(短期大学部)については2年次のご父母にご案内いたしました。7月4日(土)札幌会場での懇談会につきましては、締切(6月15日)が近づいておりますので、参加ご希望の方はお忘れなくお申込み願います。

## 2015年度

### 地区別父母懇談会のお知らせ

#### あしがき

本格的な夏を前に、木々の緑も色濃くなつてまいりました。新入生たちも大学生活に慣れてきたようで、キャンパス内は華やかな活気で溢れています。

さて、7月4日(土)には第1回札幌地区父母懇談会が本学にて開催されます。修学・就職状況について個別に詳しく聞くことのできる機会となっておりますので、これ

まで出席したことがないという方にも是非ご参加いただければと思います。

また、8月下旬から始まる地区別父母懇談会の方も皆様に満足していただけるよう、只今準備を進めております。今年度も多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(後援会事務局 大野)

南 計之  
久保 公一  
内田 文雄  
杉岡 直人

丹野千枝美  
伊東裕二郎  
大山綱夫  
山見洋子

佐藤 淳子  
時田智恵子  
酒井 玲子

#### ☆大学・短期大学部

寄付

#### 北星学園大学 教育振興寄付金ご芳名

2015年2月1日から4月30日まで

(敬称略)

(父母・一般・理事・教職員)

## ホストファミリー

### 大募集!

### 短期宿泊プログラム協力ファミリー

北星学園大学では交換留学生のホストファミリーを募集しております。受け入れていただくのはアメリカとカナダからの留学生ですが、英語は必ずしも条件ではありません。受け入れ期間は1学期(15週間)で、その間の食住費として一定額の補助をさせていただきます。多くの留学生が日本で一番印象に残った体験としてホームステイを挙げています。ホストファミリーとして登録していただきますと、春と秋に受け入れについての照会を大学からさせていただきます。ご都合の良い場合には受け入れをお願いするというシステムになっています。

また、イギリス、カナダ、スペイン、スイス、韓国、台湾、中国、インドネシアとも交換留学しており、これらの交換留学生については、例えば、2泊3日の宿泊体験プログラムなど実施する場合がありますので、合わせて募集しております。

皆様のご家庭でも留学生を迎えて国際交流をしてみませんか?  
本学のホームページから国際教育センターのサイトもご覧いただけます。ご協力をお願いいたします。

お問い合わせは下記のところまで・・・

北星学園大学 学生支援課 国際教育係

電話(代表) : (011) 891-2731 FAX : (011) 895-2500

ホームページ : <http://www.hokusei.ac.jp./kokusai/>